

学年	中学2年	教科	英語	科目	英語	単位数	6
教科書名	Blue Sky 2(啓林館)		副教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・NEW TREASURE STAGE 1 ・NEW TREASURE STAGE 2 ・NEW TREASURE 文法問題集 STAGE 1 ・NEW TREASURE 文法問題集 STAGE 2 ・NEW TREASURE 英単語 STAGE 1 ・NEW TREASURE 英単語 STAGE 2 <li style="padding-left: 20px;">※上記はすべてZ会出版 ・ENGLISH SEARCH グラマートレーニング I ・ENGLISH SEARCH グラマートレーニング II <li style="padding-left: 20px;">※上記はすべて教育開発出版 			
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

- ・ 英語を通して、相手の言うことを理解し、自分の考えなどを伝えられるようにするために、その土台となる語彙と英文法の基礎を固める。
- ・ 英語はコミュニケーションのツールであることを理解し、積極的に使ってみようとする態度を育てる。

II. 授業のねらい

- ・ 英検3級レベルのスキルの獲得を目標とする。
Listening, Speaking の面では、ALT との授業等を通して英語で日常的な会話をし、英語体験を楽しめるようにする。
Reading, Writing の面では、特に教材を活用し、海外と時刻の文化に関心をもたせるとともに、英語を正しく理解し、英語で表現するための語彙と文法の基礎固めを目指す。

III. 授業の進め方

- ・ 毎回のレッスンの予習を授業用ノートに行い、授業を受け、そのノートに要点を記入する。
その後、文法問題集用ノートを使って復習を取り入れる。
- ・ 各自、以下の2冊のノートを用意する。
 - ① 授業用ノート
 - ・ 授業の予習、復習に使用する。
 - ・ 一番上にLessonのタイトルを記入する。
 - ・ 左ページに本文と単語を書く。
 - ・ 右ページに例文と板書事項や授業でのポイントを書く。
 - ② 文法問題集用ノート
 - ・ 復習として副教材の問題集に取り組む。
 - ・ 繰り返すことにより、学習内容の定着をはかる。
- ・ 単語テストを定期的実施する。
- ・ 「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく学習する。

- ・ NEW TREASURE ENGLISH SERIES の活用について

① Introduction

- ・ 各レッスン冒頭にそのレッスンの学習の要点を確認する。

② Grammar in Use

- ・ 本文(Scene)は主にそのセクションで学習する文法事項を用いた英文を含め、日常を想定した場面での表現を広げる題材として扱う。
- ・ “Key Point” は例文を通して文法事項を学習する目的で扱う。
- ・ “Use & Check” はそのセクションで学習した文法事項の練習と定着の目的で扱う。

③ Read

- ・ 主に読解力と、さまざまな文化に対する興味・関心を育てる題材として扱う。

④ その他

- ・ “Pronunciation” は発音習得の目的で扱う。
- ・ “Action” はプレゼンテーション等で実施する際の題材として扱う。
- ・ “Word Square” は各テーマに即して語彙力を広げる目的で学習する。

- ・ 上記以外の補助教材の活用について

ENGLISH SEARCH グラマートレーニング I・II、NEW TREASURE 英単語 STAGE 1・2 は補助教材として家庭学習、また各講習にて活用する。

IV. 学習上の留意点

- ・ 授業で学習したことは、家庭学習をして復習すること。
- ・ その際、学習したことのポイントを確認し、特に反復練習を意識して行うこと。
- ・ 提出物の期限は必ず守ること。
- ・ 書く試験返却後は、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
- ・

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : NEW TREASURE STAGE 1 Lesson 11~12
- 1 学期 期末試験 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 1~2
- 2 学期 中間試験 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 3~4
- 2 学期 期末試験 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 5~6
- 3 学期 学年末 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 7~8

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	〈NEW TREASURE STAGE 1〉 Lesson 11 There is [are] ～ の文	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語テスト ・小テスト (Speaking テストや暗唱テストを含む) ・提出物 ・授業態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した語彙や文法事項を用いて、自他の考えや出来事を英語で伝え合えるようになる。 ・「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく学習し、英語をコミュニケーションの道具として使うことができる。
	5	There is [are] ～ 否定文・疑問文 数や量の多少を表す表現		
		Lesson 12 比較 原級を用いた比較の文 比較級を用いた比較の文 最上級を用いた比較の文 疑問詞を用いた比較の文		
	6	〈NEW TREASURE STAGE 2〉 Lesson 1 接続詞① 感嘆文		
	7	[復習] 等位接続詞 命令文, and / or ～ 時を表す接続詞 / 感嘆文		
		Lesson 2 接続詞② 助動詞表現 条件・理由・譲歩を表す接続詞 接続詞 that Shall I [we] ～? / Will you ～? / have to ※ その他、週に1回をベースにオンライン英会話を実施する。		
二学期	9	〈NEW TREASURE STAGE 2〉 Lesson 3 文型	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語テスト ・小テスト (Speaking テストや暗唱テストを含む) ・提出物 ・授業態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した語彙や文法事項を用いて、自他の考えや出来事を英語で伝え合えるようになる。 ・「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく学習し、英語をコミュニケーションの道具として使うことができる。
	10	文型 (SVC/SVOO/SVO) Lesson 4 不定詞 名詞用法の不定詞 副詞用法の不定詞 形容詞用法の不定詞		

	11	Lesson 5 動名詞 動名詞の文		
	12	不定詞と動名詞 / 慣用表現 Lesson 6 受動態 受動態（疑問文、否定文、助動詞） 疑問詞を用いた受動態の疑問文 by 以外を用いる受動態 SVOO, SVOC の受動態 ※ その他、週に1回をベースにオンライン英会話を実施する。		
三 学 期	1 2 3	〈NEW TREASURE STAGE 2〉 Lesson 7 現在完了 完了・結果を表す現在完了 経験を表す現在完了 継続を表す現在完了 現在完了進行形 Lesson 8 名詞 / 不定代名詞 / 再帰代名詞 名詞の種類 不定代名詞 再帰代名詞 ※ その他、週に1回をベースにオンライン英会話を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語テスト ・小テスト （Speaking テストや暗唱テストを含む） ・提出物 ・授業態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した語彙や文法事項を用いて、自他の考えや出来事を英語で伝え合えるようになる。 ・「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく学習し、英語をコミュニケーションの道具として使うことができる。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。